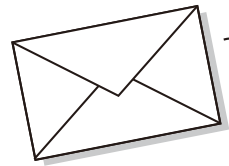


from Genève



## ジュネーブ便り 第8回

インダストリアル本部造船・船舶解撤  
ICT・電機・電子部門担当部長

松崎 寛

# スイスの犯罪事情—強盗や窃盗にご用心!

「ムッシュ、背中になにかついています。拭いてあげますからコートをお願いします。」ある夜のジュネーブ中央駅、出張から帰ってきた私が駅構内で背後から若者に声をかけられました。何事だと思い、コートの背中を見てみると白いドロドロとした液体がべったりと付着しています。

筆者がスリに遭遇した現場



若者はニコニコしながらも強引に私のコートを脱がそうとします。その瞬間、私はハッとなり彼の手を振りほどき、そそくさとタクシー乗り場へと逃げました。そう、これは典型的なスリの手口のひとつで、危うく被害に遭うところでした。ヨーロッパのなかでは比較的安全・安心な町だといわれているジュネーブですが、まさに油断は禁物。本稿では、最近ジュネーブで増加傾向にある犯罪被害、とりわけ強盗や窃盗に関する事柄について取り上げたいと思います。

### 増加の一途を辿る犯罪件数と転換を迫られる外国人政策

アメリカの情報サイトTOP10リストでは、「最も治安の良い旅行目的地トップ10」を紹介しており、スイスは世界トップ5にランクインしています(東京は10位)。国民1人あたりの所得が高く、中立国でセキュリティ意識

が高い国。だから安心して滞在できる。一般的にはそうしたスイスに対するイメージが定着しています。一方で、スイスを取り囲むユーロ圏では経済が停滞し、政情は不安定。若者を中心とする失業率はかつてない水準に達しているほか、「アラブの春」以降、北アフリカ諸国などからスイスへの難民申請者や不法滞在者も増加の一途を辿っているようです。ヨーロッパのなかで数少ない所謂「勝ち組」のスイスであるが故に、近隣諸国、フランス語圏の北アフリカ、旧東ヨーロッパ諸国で行き場を失った犯罪者や犯罪予備軍の格好の標的となっているようです。

スイスの連邦統計局によると、犯罪件数のうち4分の3が所有権を犯す犯罪、つまり引ったくりやスリ、家宅侵入や車上荒らしとなっています。また、強盗犯および窃盗犯の出身国にはチュニジア、アルジェリア、モロッコ、ルーマニア、グルジア、旧ユーゴスラ

ビアなどが多く、スイスのフランス語圏や都市部での犯罪率が上昇している様です。また、「アラブの春」以降は、車上荒らし1500%増、万引き390%増、強盗150%増、引ったくり130%増と急激な伸びを示しています。

先日(2月9日)、国民投票が実施され、ある国民発議に注目が集まりました。その発議とは移民や外国人労働者の受け入れ人数を制限することを求める「大量移民反対イニシアチブ」で、スイスに自由に行き来しているEU加盟国出身の越境労働者も制限の対象となるものです。これまでそうした制限を支持してこなかったスイス国民でしたが、投票結果は、賛成50・3%、反対49・7%、26州中14・5州の過半数が賛成し、歴史的な可決となりました。外国人・移民の増加による交通渋滞、住宅不足、不動産価格の上昇、仕事求人数の低下、社会保障制度の不

安定化などとともに、外国人による急激な犯罪率の増加が、移民や外国人労働者に伝統的に寛容であるスイスの外国人政策に転換を迫る要因のひとつとなっているのです。

## 巧妙な犯罪手口と防犯対策

外務省や在ジュネーブ出張駐在官事務所では、ジュネーブ市における治安の悪化が深刻化していると警告を發しています。国際機関やインダストリアルなどのGUF（国際産業別労働組合組織）があつまるジュネーブ。会議や宿泊の拠点等で、読者のみなさまもジュネーブにこられる機会があると思えます。渡航の際には、防犯対策として外務省「海外安全ホームページ」をざー読することをおすすめいたします。冒頭で筆者が遭遇した手口（洋服汚し犯）も含まれていますので、抜粋したものをここでも紹介いたします。

### ア 電車等、乗車時のお手伝い犯

ブロック係は、人々がトラムや電車に乗る際、旅行バッグ等重量物の運搬を手伝うと申し出、最初に乗込み、入り口付近で停滞することにより、人々の乗車を遅らせます。同時に抜き取り係が、乗車のため並んでいる対象者が入り口付近に気を取られている隙に、財布やカバンを盗んでいく手口です。

これは実際に邦人が被害に遭っています。

### イ ぶつかり犯

エスカレーターのような人混みにいる時、犯人が故意に体を押しついたり、ぶつかってきたりします。それに気を取られている隙に、共犯者がカバンや財布をスルという手口です。

### ウ 押しのけ犯

混雑したブラットホームなどで犯人が人を押しのけて不自然に対象者の側に寄って来ます。対象者が不快に思い背を向けたところ、ゆうゆうとカバンから物を盗んでいく手口です。

### エ ご案内犯

観光客になりすました犯人が、道路上で道順について、あるいは電車内において電車の接続などについて突然質問してきます。そして注意を引いている隙に、共犯者が財布やカバンを盗んでいく手口です。これは邦人がローザンヌ駅そしてベルン旧市街地で被害に遭っています。

### オ 両替お願い犯

見知らぬ人が突然両替を頼んできて、小銭を数えている隙に、紙幣を抜き取ってしまう手口です。

### カ 洋服汚し犯

対象者の洋服を故意にケチャップ、マスタード、アイヌなどで汚します。口上手に許しを請い対象者がそれに対応している隙に、共犯者がバッグから物

を抜き取ったり、足下のカバンを盗んだりしていく手口です。

### キ 洋服掛け犯

電車のボックス席に予めかかっている他人のコートの上に自分のコートを掛け、その後、自分のコートを取るふりをして、他人のポケットなどから金目の物を盗む手口です。

### ク 窓ガラスノック犯

停車中の電車に犯人が乗り込み、車内を歩き回り対象を探します。その際、共犯者も同様に移動し、車内の犯人が恰好の対象を発見すると共犯者が外から対象者が座っている窓ガラスをノックします。対象者がそちらに気をとられている隙に犯人が対象者の荷物を盗んで降りてしまう手口です。

### ケ ジャケット犯

犯人がレストランに入りターゲットの背中合わせに席を取り、ジャケットを背もたれに掛けます。そして、自分のジャケットに手をやるように見せかけて、対象者のジャケットに金目の物がないか探る手口です。

### コ コインばらまき犯

電車の車内において、わざとターゲットの周辺でコインをばらまき、対象者が拾うのを手伝っている隙に「抜き取り係」が、網棚においてあるカバン等を盗んでいく手口です。

この他にも、偽警官による所持品検査で財布を出し所持金の半分程度を盗まれる

ケースも散見されています。

また、こうした街中での犯罪のほかに、アパート、一戸建て住宅等の「管理会社・不動産業者から依頼されて点検に来た」と、配管工、暖房技術者を偽り、住居侵入し現金や貴金属を家人の隙を見て盗む手口も増加しているようです。私の在任期間中にオレオレ詐欺がジュネーブに到達するのはそう遠くないかもしれません。（オレオレ詐欺の手口をフランス語で聞けるレベルに達したいものです。…）とにかく何事にも用心！



松崎 寛 まつざき かん

1998年金属労協に入局。国際局、政策局で主任として産業政策、環境政策の立案をはじめ海外労働紛争防止ツールの作成などに活躍。2010年9月1日から家族同伴でIMF本部（現インダストリアル）に赴任。現在の担当役職は、産業政策・多国籍企業政策グループの造船・船舶解撤／ICT・電機・電子部門担当部長。